

「知らないうちに重要なことが進んでいる」
市政報告会参加者から怒りの声

市議団は10月、清水区内で市政報告会を開きました。台風17号の影響で風雨が強まる中での開催となりました。はじめに5人の議員から、LNG火力発電所建設問題、桜ヶ丘病院移転問題、小中一貫教育、公共施設のアセットマネジメント、国保会計の赤字決算と国保料引き下げなどについて9月議会での質問を主に報告が行われました。

参加者からは、「市民の知らない所でどんどん進んでいる。市当局は、バブリックコメントで市民の意見を聞いていると言っているが、それさえ知らない」「津波浸水区域である市庁舎への病院移転は理解したい」「人口が2割減るから公共施設を2割減らすというのは単純思考だ」など厳しい意見や質問が出されました。



葵区での市政報告会

党議員団 農業要望実現へ決意 市農業委員会と懇談

市議団はこのほど静岡市農業委員会委員のみなさんとの懇談を行いました。農業委員会は毎年度市長に対して農業振興を図るべく、積極的な施策の展開を提案しています。本年度も「担い手育成支援事業費の増額を」「都市農家支援事業の継続を」「リーフ茶消費拡大のための施策推進を」「野生鳥獣による作物被害対策を」など緊急かつ切実な提案を行ったとのこと。その中で共産党議員団を訪れました。「共産党としてもぜひ協力」との委員長の要請に、党議員団は「農業は食糧生産を担う基幹産業、提案内容については全く賛成です。私たちも全力でがんばりたい」と応じました。



市農業委員会と懇談

「戦争法廃止・憲法守ろう」
市議有志がスタンディング

静岡市議会の緑の党、日本共産党、無所属(旧民進党)所属議員有志が毎月19日に「戦争法の廃止・憲法守ろう」とスタンディングアピールを行っています(写真は9月19日、109前)。市民からも激励があります。



市議有志のスタンディング

市議団視察 小中一貫教育について 堺市、奈良市を視察

小中一貫教育に取り組む先行自治体を視察しました。堺市は、学びの基礎力を点数だけでなく、総合的につける目的で取り組みを開始。市費で全中学校区に推進リーダーを配置し、小学校と中学校の教師の連携に努めています。学校統廃合が目的ではありません。まず、子どもたちを主体にし、教師の同意を前提にしています。市民合意なく、強引に進めようとする静岡市とは姿勢が違います。



奈良市を視察

市議団が街頭から 呼びかけ 来年度も国保料 引き下げ実現を

来年度国保料引き下げに向け運動が広がっています。これまで2年連続の引き下げが実現しています。高すぎる保険料で払いたくても払えないと市民の強い要求が大きな運動に広がり、共産党議員団も一緒に頑張ってきた成果です。
来年度も国保基金など財源は充分あり、連続して引き下げは可能です。このほど市議団は、街頭から呼びかけました。



街頭で呼びかける党市議団

市民アンケートにご協力ください!

党市議団は、市民の皆さんのご意見・ご要望を市政に反映させるため、市民アンケートに取り組んでいます。暮らし、福祉・介護、子育て・教育など市政に関わること、国政要望などについて、お聞きしています。現在(10月27日)約1600人の方から、貴重なご意見が寄せられています。皆さんもぜひ、ご協力ください。



いのち・くらしを守る市政へ

日本共産党 静岡市議会議員団

TEL 054-254-2111 (4511)

FAX 054-272-4695

http://www.jcps.jp

しずおか市政新報 第73号 2016年10月30日発行



葵区 山本明久 議員



葵区 鈴木せつ子 議員



清水区 内田りゅうすけ 議員



清水区 西谷博子 議員



駿河区 寺尾 昭 議員

党提案 意見書

国保、介護の切実な要求を国に求める 意見書を与党が否決

意見書2案

国民健康保険の財政支援拡充の確実な実施を 介護保険認定軽度者の保険はずしを止めよ

自治体のひっ迫する国保財政に、国の財政支援を確実にを行うよう求める意見書と、介護保険軽度者の保険はずしを止めよう求める意見書を党が提案。

介護度2までの方は全体の65%にも当たり、サービスはずしは介護保険の根幹にかかわる重大な問題です。しかし、与党は「経緯を見守る」と、否決しました。

11月定例会予定

- 11月21日…………… 本会議
- 11月30日～12月2日…………… 本会議質問
- 12月6・7日…………… 各委員会
- 12月13日…………… 本会議



